

聖餐式 2020. 5. 3 復活節第 4 主日

聖歌：165、538(1,2,4)、500、482、166

聖書日課

復活節第 4 主日 (A 年) 特祷

永遠の契約の血によって良い羊飼ひ、主イエス・キリストを死人のうちからよみがえらせられた平和の神よ、どうか、わたしたちをみ旨にかなう者とし、み前に喜ばれるすべての良い業を行わせてくださいますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

第 1 朗読 使徒言行録 6:1-9,7:2a,51-60

その頃、弟子たちが増えてきて、ギリシア語を話すユダヤ人からヘブライ語を話すユダヤ人に対して苦情が出た。日々の分配のことで、仲間のやもめたちが軽んじられているというのである。そこで、十二人は弟子たち全員を呼び集めて言った。「私たちが、神の言葉をおろそかにして、食事の世話をするのは好ましくない。そこで、きょうだいたち、あなたがたの中から、霊と知恵に満ちた評判の良い人を七人探みなさい。彼らにその仕事を任せよう。私たちは、祈りと御言葉の奉仕に専念することになります。」一同はこの提案に賛成し、信仰と聖霊とに満ちた人ステファノと、ほかにフィリポ、プロコロ、ニカノル、ティモン、パルメナ、アンティオキア出身の改宗者ニコラオを選んで、使徒たちの前に立たせた。使徒たちは、祈って彼らの上に手

を置いた。こうして、神の言葉はますます広まり、弟子の数はエルサレムで非常に増えていき、祭司も大勢この信仰に入った。さて、ステファノは恵みと力に満ち、すばらしい不思議な業とするしを民衆の間で行っていた。ところが、「解放奴隷とキレネ人とアレクサンドリア人の会堂」と呼ばれる会堂の人々、またキリキア州とアジア州出身の人々などが立ち上がり、ステファノと議論した。

そこで、ステファノは言った。

「かたくなで、心と耳に割礼を受けていない人たち、あなたがたは、先祖たちと同様に、いつも聖霊に逆らっているのです。一体、あなたがたの先祖が迫害しなかった預言者が、一人でもいたでしょうか。彼らは、正しい方が来られることを前もって告げた人々を殺しました。そして今や、あなたがたがその方を裏切る者、殺す者となったのです。あなたがたは、天使たちを通して律法を受けた者なのに、それを守りませんでした。」人々はこれを聞いて激しく怒り、ステファノに向かって歯ぎしりした。ステファノは聖霊に満たされ、天を見つめ、神の栄光と神の右に立っておられるイエスとを見て、「ああ、天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」と言った。人々は大声で叫びながら耳を覆い、ステファノ目がけて一斉に襲いかかり、都の外に引きずり出して石を投げつけた。証人たちは、自分の上着を脱いで、サウロと言う若者の足元に置いた。人々が石を投げつけている間、ステファノは主に呼びかけて、「主イエスよ、私の霊をお受けください」と言った。そして、ひざまずいて、「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と大声で叫んだ。こう言って、ステファノは眠りに就い

た。

詩 編 23

- 1 主はわたしの牧者 || わたしは乏しいことがない
- 2 神はわたしを緑の牧場に伏させ || 憩いの水辺に伴われる
- 3 神はわたしの魂を生き返らせ || み名のゆえにわたしを正しい道
に導かれる
- 4 たとえ死の陰の谷を歩んでも、わたしは災いを恐れない || あなた
がわたしとともにおられ、あなたの鞭と杖はわたしを導く
- 5 あなたは敵のしている前でわたしのために食卓を整え || わたし
の頭に油を注ぎ、わたしの杯を満たされる
- 6 神の恵みと慈しみは、生きている限り、わたしに伴い || わたしは
永遠に主の家に住む

使徒書 ペトロの手紙1 2:19-25

不当な苦しみを受けても、神のことを思って苦痛を耐えるなら、それは御心に適うことなのです。罪を犯して打ち叩かれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょうか。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、これこそ神の御心に適うことです。あなたがたは、このために召されたのです。キリストもあなたがたのために苦しみを受け、その足跡に続くようにと、模範を残されたからです。

「この方は罪を犯さず

その口には偽りがなかった。」

罵られても、罵り返さず、苦しめられても脅すことをせず、正しく裁かれる方に委ねておられました。そして自ら、私たちの罪を十字架の上で、その身に負ってくださいました。私たちが罪に死に、義に生きるためです。この方の打ち傷によって、あなたがたは癒やされたのです。あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、魂の牧者であり監督者である方のもとへ立ち帰ったのです。

福音書 ヨハネによる福音書 10:1-10

「よくよく言うておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来る者は、盗人であり、強盗である。門から入る者が羊飼いである。門番は羊飼いには門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているの、付いて行く。しかし、ほかの者には決して付いて行かず、逃げ去る。その人の声を知らないからである。」イエスは、このたとえをファリサイ派の人々に話されたが、彼らはその話が何のことか分からなかった。イエスはまた言われた。「よくよく言うておく。私は羊の門である。私より前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。私は門である。私を通して入る者は救われ、また出入りして牧草を見つける。盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得るため、しかも豊かに得るためである。

代 禱

代 禱 者

新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のために祈りましょう

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大によって、今、大きな困難の中にある世界を顧みてください。病に苦しむ人に必要な医療が施され、感染の終息に向けて取り組むすべての人、医療従事者、病者に寄り添う人の健康が守られますように。亡くなった人が永遠のみ国に迎え入れられ、尽きる事のない安らぎに満たされますように。不安と混乱に直面しているすべての人に、支援の手が差し伸べられますように。希望の源である神よ、わたしたちが感染拡大を防ぐための犠牲を惜まず、世界のすべての人と助け合って、この危機を乗り越えることができるようお導きください。わたしたちの主イエス・キリストによって。

一 同 アーメン

(2020 年 4 月 3 日

日本カトリック司教協議会認可の祈り。一部省略)

代 禱 者 世界の教会とわたしたちの教区のために祈りましょう。

本日は、**アングリカン・コミュニオン:日本聖公会、ナタナエル植松誠首座主教(北海道教区主教)のため**

日本聖公会:神学校のために祈る主日一聖公会神学院、ウイ

リアムス神学館のため

東京教区:三光教会、香蘭女学校(礼拝堂、中等科、高等科)
のため

エルサレム教区:船員の為のミッション・聖パウロ・聖ペテロ教会(アカバ)のため

メリーランド教区:聖ヤコブ教会(モンクトン)、聖トマス教会(ギャリソン・フォレスト)のため

これらの教会、また世界に広がるすべての教会を覚えて祈ります

一 同 主よ、お聞きください

代祷者 世界の国々の正義と平和のために祈りましょう。

争い・分裂のうちにある、またそれを引き起こしている国々とその指導者の悔い改めのために不正義、不平等、人間の尊厳を傷つける搾取、傲慢や強欲、ますます一般化する無関心を私たちが取り除くことができるように祈ります

一 同 主よ、お聞きください

代祷者 わたしたちの教会と地域社会のために祈りましょう。

わたしたちの所属する教会のため、教会の置かれた地域社会のため、自分の家が属する地域社会のために祈ります

一同 主よ、お聞きください

代祷者 苦しみや悲しみのうちにある人びとのために祈りましょう。

心や体に病を持つ人びとのため、孤独な人、愛する人を失った人、抑圧・虐待されている人びとのため、

家や食べ物がない人、貧困のうちにある人、生活に必要なものが与えられない人びとのため、難民、囚人、また犯罪被害者のため、事故や過失により傷を負った、また他の人に傷を負わせた人びとのため、その他、多くの悩み・悲しみ・苦しみのうちにある人びとのために祈ります

一同 主よ、お聞きください

代祷者 世を去った人びとのために祈りましょう。(この世を去った方々を覚え、名前を挙げてよい)

世を去ったすべての人の、あなたの永遠のみ国における平安を祈ります

一同 主よ、お聞きください

代祷者 憐れみ深い神よ、あなたは私たちを知り、私たちを愛し、私たちの祈りをお聞きくださいます。私たちが、いつもあなたとの交わりのうちにあり、喜びをもって仕えることができますように。み子イエス・キリストのみ名によってお願いいたします

一同 アーメン